

# 東京の生協のまちづくり活動トピックス



まちづくり活動では、定期的に生協間での情報共有や課題について学びあう「定例会」を開催しています。その中で、それぞれの生協での活動に役立つプログラムを組み入れることがあります。今回はその事例を紹介します。

## 足立区まちづくり 「米粉を使った親子料理教室」の開催方法をプレ企画で学びました

「各生協の強みを生かして、米の消費拡大、アレルギー対応、子育て支援などに役立つような、米粉を使った親子料理教室を区民向けに企画開催したい」というメンバーの思いから、7月17日(水)、パルシステム東京のパルひろば足立で、「米粉を使った親子料理教室プレ企画」として、野菜ソムリエプロの増田純代さんを講師に迎え、米粉を使った親子料理教室の開催方法を学びました。



美味しく、楽しく、笑顔いっぱい

「親子料理教室について」と「米粉の魅力について」質疑応答も交えた座学の後、調理と試食を準備から片付けまで丁寧な指導を受けながら実習しました。実習後には、各生協や2つの生協の連携で米粉を使った料理教室を広げていきたいという感想があり、講師からも企画の広がりを楽しみにしているので、開催したらぜひ教えてほしいとお話をいただきました。今後の広がりが楽しみな活動になりました。



コープみらい・パルシステム東京・東都生協・東京ほくと医療生協・東京ふれあい医療生協

## 品川区まちづくり “もしバナゲーム” で発見する「自分の終末期に大切にしたいこと」



加藤千鶴子さん  
(大田病院 看護師  
医療安全管理者・  
臨床倫理認定士)

7月23日(火)、看護師の加藤千鶴子さんを講師に“もしバナゲーム”を13名の参加者とともに体験しました。初めに配られたカード5枚とテーブルに並んでいるカードを比べて自分が大切にしたいカードを交換していきます。「尊厳が守られる」「家族と過ごしたい」「信頼できる医師がいる」など、どれも捨てがたいカードを手にしながらか、手放したり、選んだりしながら、最後に残す3枚を選びます。その3枚が自分にとって「最も大切な願い」として、それぞれが選んだ理由や終末期を迎えた時にこうありたいという思いを交流しました。「最後の晩餐は、体調が悪かった時に、夫が作ってくれたカリカリ梅のおにぎりがとても美味しかったのでそれに決めている。」という心温まるエピソードも聞けたりと、自分の幸せな終末期を考える素敵な時間を過ごすことができました。講師からは、その思いを伝える別の方法として、「ライフデザインノート」も紹介され、書く時のポイントも学びました。



どのカードと交換するか悩みます

コープみらい・パルシステム東京・東都生協・生活クラブ生協・城南保健生協

## 生協のまちづくり★八王子 空き家を活用した八王子保健生協「cafeかじやしき」見学と交流

コープみらい、パルシステム東京・東都生協・自然派くらぶ生協・八王子保健生協



誰でも気軽に集まり、仲間づくりや健康づくり、助け合いの拠点となっている「cafeかじやしき」の見学と交流会を7月17日(水)に開催しました。八王子市の総合事業計画に沿う形で八王子保健生協によってスタートした常設型のサロンは今年で8年目を迎えます。昨年度はトータルでおよそ2,000名の利用があり、男性の参加が多いことも特徴です。また家事援助など組合員どうしの助け合い「はちせい いきいきらいふの会」のコーディネートやマッチングも行っています。

カフェやランチのほか、曜日ごとに体操や健康マージャン、ノルディックウォーキングなどの楽しい催しがあり、見学したまちづくりメンバーも茶道の体験をしました。参加したまちづくりメンバーからは「居心地の良い地域の居場所についての大切なヒントをいただいた」などの感想があり、見学と交流を通じて居場所づくりについて学び、八王子保健生協の活動を知る貴重な機会となりました。



多くの参加者でにぎわう居心地の良い和室

## 東京都生協連 会館事業者で「フードライブ～夏休みランチお助け大作戦!～」を実施しました

夏休みに入ると学校給食がないために食事に困ってしまう子どもたちがいます。東京都生協連では、夏休みもおなかを空かせることなく、笑顔で過ごしてもらいたいと7月に会館内の事業所と連携して、フードライブを実施しました。お留守番中の子どもたちが手軽に食べられるような食品やおやつのお菓子など、226個の食品などが集まりました。寄贈先は、東京都生協連とも以前からつながりのある中野区桃園民活動センターを通じて、桃園地域の子ども支援団体にお渡ししていただく予定です。

